

# FUJITSU Component SERVIS KVM solution

キーボードドロワー(PS/2) [FD-K000AT/J] [FD-K000AT/JW]

キーボードドロワー(USB) [FD-K000AU/J] [FD-K000AU/JW]

オペレーティングマニュアル

---

この装置は、クラス A 情報技術装置です。

この装置を家庭環境で使用すると電波妨害を引き起こすことがあります。

この場合には使用者が適切な対策を講ずるよう要求されることがあります。

VCCI-A

## ハイセイフティ用途での使用について

本製品は、一般事務用、パーソナル用、家庭用、通常の産業用等の一般的用途を想定して設計・製造されているものであり、(1)原子力施設における核反応制御、航空機自動飛行制御、航空交通管制、大量輸送システムにおける運行制御、生命維持のための医療用機器、兵器システムにおけるミサイル発射制御などの、極めて高度な安全性が要求され、仮に当該安全性が確保されない場合、直接生命・身体に対する重大な危険性を伴う用途ならびに(2)海底中継器、宇宙衛星など、極めて高度な信頼性が要求される用途(以下「ハイセイフティ用途」という)に使用されるよう設計・製造されたものではございません。お客様は、当該ハイセイフティ用途に要する安全性ならびに信頼性を確保する措置を施すことなく、本製品を使用しないでください。また、お客様がハイセイフティ用途に本製品を使用したことにより発生する、お客様または第三者からの如何なる請求または損害賠償に対しても、富士通コンポーネント株式会社およびその関連会社は一切責任を負いかねます。

その他の製品名等の固有名詞は、各社の登録商標または商標です。

Copyright 2015 FUJITSU COMPONENT LIMITED

---

# 目 次

1. はじめに .....	8
2. 表記規則 .....	8
3. 梱包品の確認 .....	9
4. 重要なお知らせ .....	10
4.1 安全性 .....	10
4.2 廃棄について .....	11
4.3 本装置の運搬 .....	11
5. 各部の名称と機能 .....	12
5.1 外観 .....	12
6. 取り付け .....	13
6.1 フロントブラケットの取り付け .....	13
6.2 ガイドレールの取り付け(FP-G001 の場合) .....	14
6.3 本製品の取り付け .....	15
7. ケーブルの接続と取り外し .....	16
7.1 ケーブルの接続 .....	16
7.1.1 サーバへ接続する場合 .....	16
7.1.2 KVM スイッチ内蔵モニタドローワーへ接続する場合 .....	17
7.2 ケーブルの取り外し .....	18
8. 操作 .....	18
8.1 本製品の引き出し .....	19
8.2 キーボードの操作、LED 表示 .....	21
8.3 マウスの使用方法 .....	21
8.4 本製品の格納 .....	22
9. 本装置のお手入れ .....	23
10. 技術仕様 .....	24



---

# 安全に関するご注意




本書では、使用者および周囲の方の身体や財産に損害を与えないための警告表示をしています。

警告表示は、警告レベルの記号と警告文から構成しています。

以下に、警告レベルの記号を示し、その意味を説明します。内容をよくご理解のうえ、お読みください。

 <b>警告</b>	この表示は正しく使用しない場合、人が死亡する、または重症を負う恐れがあることを示しています。
 <b>注意</b>	この表示は、正しく使用しない場合、軽傷、または中程度の傷害を負うことがあり得ることと、本装置自身またはその他の使用者などの財産に損害が生じる危険性があることを示しています。

また、危害や損害の内容がどのようなものかを示すために、上記の絵表示と同時に次の記号を使用しています。

	△で示した記号は、警告・注意を促す内容であることを告げるものです。記号の中やその脇には、具体的な警告内容が示されています。
	⊘で示した記号は、してはいけない行為（禁止行為）であることを告げるものです。記号の中やその脇には、具体的な警告内容が示されています。
	●で示した記号は、必ず従っていただく内容であることを告げるものです。記号の中やその脇には、具体的な警告内容が示されています。

## 使用中の取り扱いについて

### 警告

#### 感電、火災



開口部から本装置内部に金属類を差し込んだり、落とし込んだりしないでください。火災・感電・故障の原因となります。

#### 水ぬれ



本装置に水をかけたり、濡らしたりしないでください。感電・火災の原因となります。

#### 水場での使用



風呂場、シャワー室などの水場で使用しないでください。感電・火災の原因となります。

#### 悪環境での使用



本装置の上や近くに、花瓶、植木鉢、コップ、化粧品、薬品や水などの入った容器または、小さな金属物を置かないでください。装置内に入った場合、火災・感電・故障の原因となります。

#### 電源プラグ抜去



万一、本装置から発熱や煙、異臭や異音がするなどの異常が発生した場合は、ただちに本装置の電源スイッチを切り、その後必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。感電・火災の原因となります。

#### 電源プラグ抜去



万一、装置内部に水などの異物が入った場合は、まず機器本体の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売窓口までご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電・故障の原因となります。

#### 電源プラグ抜去



万一、この機器を落としたり、キャビネットを破損した場合は、機器本体の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売窓口までご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電・故障の原因となります。

#### 電源プラグ抜去



近くで雷が発生した時は、電源プラグをコンセントから抜いてください。そのまま使用すると、落雷等による直接・間接的な影響により装置が破壊され、感電・火災の原因となることがあります。

#### けが



液晶ディスプレイが破損し、液状の内容物が流出して皮膚に付着した場合は、流水で15分以上洗浄してください。また、目に入った場合は、流水で15分以上洗浄したあと、医師に相談してください。液晶ディスプレイの内部には、刺激性物質が含まれています。

## 使用中の取り扱いについて

### 警告

**航空機内での使用** 航空機内では本装置を使用しないでください。航空機の計器誤動作の原因となります。



**けが** LCD 部の引き起こし時及び収納時に、隙間に手を挟まない様、注意してください。けがの原因となることがあります。

## 使用中の取り扱いについて

### 注意

**火災**



使用中の本体や AC アダプタなどは、布などでおおったり、包んだりしないでください。熱がこもり、火災の原因になることがあります。

**火災**



本装置の開口部（通風孔など）をふさがないでください。通風孔をふさぐと内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。

**衝撃、振動**



本装置に過度の衝撃や振動を与えないでください。感電・火災または、故障の原因になることがあります。

**国内仕様**



本製品は日本国内仕様です。本製品を日本国外で使用された場合、弊社は一切の責任を負いかねます。また、弊社は本製品に関し日本国外への技術サポート、及びアフターサービス等を行っておりませんので、予めご了承ください。

## 設置・据付について

### 警告



感電

アクセサリの取り付けおよび取り外しを行う場合は、必ず装置本体の電源を切り、電源コードをコンセントから抜いた状態で行ってください。感電の原因となります。



感電、火災

本装置を移動させる場合は、電源プラグをコンセントから抜き、外部の接続線ははずしたことを確認の上、行ってください。コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。

### 注意

重量物



本装置を動かす場合は、必ず2人以上で行ってください。腰や手を傷める原因となります。

悪環境への設置



水、湿気、湯気、ほこり、油煙等の多い場所（調理台や加湿器のそばなど）に設置しないでください。感電・火災・故障などの原因になることがあります。

不安定な場所



ぐらついた台の上や傾いた所など、不安定な場所に置かないでください。落ちたり、倒れたりして、けがの原因となることがあります。

振動、衝撃



振動・衝撃の多い場所に置かないでください。落ちたり、倒れたりして、けがの原因となることがあります。

専用箱での運搬



本装置を運搬する際は、衝撃や振動を避けるため、購入時の箱か同等の箱を使用してください。ただし、変形及び破損等がある箱は、使用しないでください。本装置が故障する原因となることがあります。

結露



本装置を寒冷な環境から設置場所に移動すると、結露を生じることがあります。装置が完全に乾燥し、設置場所とほぼ同じ温度になってから使用してください。すぐに使用すると、本装置が故障する原因となることがあります。

## ACアダプタ・電源・電源コードについて

### 警告

ぬれ手



濡れた手で電源コードを抜き差ししないでください。感電の原因となります。

火災



電源プラグとコンセントの接続部には、ホコリやゴミをためないでください。その状態で長い間使用して湿気をおびると、接続部が熱をもって発火にいたる「トラッキング」をおこし、火災の原因となります。

火災



電源コードを巻いたり、束ねたりしないでください。その状態で使用すると電源コードが熱をもって発火し、火災の原因となります。

感電・火災



電源コードを傷つけたり、加工したりしないでください。また、重いものを載せたり、引っ張ったり、無理に曲げたり、ねじったり、加熱したりして、電源コードを傷めないでください。感電・火災の原因となります。

感電・火災



電源コードのコードやプラグが傷んだり、コンセントの差し込み口がゆるい状態では使用しないでください。そのまま使用すると、感電・火災の原因となります。

アース接続



電源を接続する前に必ずアース接続をしてください。アース接続しないで使用すると、万一漏電した場合に、感電・火災の原因となります。

アース接続



湿気が多い場所で使用する場合はアース接続をしてください。アース接続しないで使用すると、万一漏電した場合に、感電・火災の原因となります。

感電・火災



指定された電源電圧以外の電圧で使用しないでください。また、タコ足配線をしないでください。感電・火災の原因となります。



## ACアダプタ・電源・電源コードについて

### 警告



電源プラグを電流容量 15A 以上の専用コンセントに直接接続してください。延長コードは過熱・発火の危険があるので使わないで下さい。



指定の電源電圧以外では、絶対に使用しないでください。火災や故障の原因となります。

### 注意

感電・火災



電源コードのプラグをコンセントから抜くときは、電源コードを引っ張らずに、必ず電源コードのプラグを持って抜いてください。電源コードを引っ張ると、コードの芯線が露出したり断線したりして、感電・火災の原因となることがあります。



長時間装置を使用しないときには、安全のため必ず電源コードをコンセントから抜いてください。火災・故障の原因となることがあります。



電源コードのコンセント差し込みプラグは、コンセントの奥まで確実に差し込んでください。プラグとコンセントの接触不良により、火災・故障の原因となることがあります。

感電・火災



電源コードを熱器具に近付けないでください。コードの被覆が溶けて、火災・感電の原因となることがあります。

## 保守について

### 警告

#### お客様自身の修理



本装置の修理はお客様自身で行わないでください。火災・感電の原因となります。弊社にご連絡の上、弊社の担当保守員によるメンテナンスを受けてください。

#### 分解・改造



本装置を分解・改造しないでください。火災・感電の原因となります。また、本製品の中古品をオーバーホールなどによって再生して使用しないでください。使用者や周囲の方の身体や財産に予期しない損害が生じるおそれがあります。

### 注意

#### 装置内の取り扱い



静電気に対し誤動作や故障を起こす場合があります。保守担当者以外は内部に触れないで下さい。

#### 廃棄



本製品は金属、プラスチック部品を使用しています。廃棄するときは、各自治体の指示に従ってください。

## 1. はじめに

このたびは、キーボードドロワー（以降、本製品または本装置と呼びます）をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。

本製品をお使いになると、ラック作業空間の効率を大幅に改善できます。また、コンパクト設計のスライドモジュールの採用で、従来のソリューションに比べてより広くなるスペースを別のコンポーネントに利用できます。

なお、本取扱説明書はPS/2タイプ、USBタイプ共通となっております。

特に注記がない場合はUSBタイプを用いた説明になります。

## 2. 表記規則

この説明書で使用している記号と文字の意味は次のとおりです。

( )、[ ]、[ ]	参照する章のタイトルや用語の強調をしています。
キーボードドロワー または本装置、本製品	キーボードドロワー[FD-K000AT/XX]または[FD-K000AU/XX]の記述の説明時に使用しています。
<>	キーボード上のキーを示します。 例：<Esc>は Esc キーを<Enter>は Enter キーを示します。
( )、) で囲まれた数字	順序に従って行う必要がある操作を示しています。

### 3. 梱包品の確認

梱包物が揃っていることを確認し、(✓点)を付けてください。

<input type="checkbox"/> 本装置本体	× 1
<input type="checkbox"/> フロントブラケット	× 2
<input type="checkbox"/> サラコネジ(フロントブラケット用)	× 4
<input type="checkbox"/> ナイロンバンド(ケーブル結束用)	× 3
<input type="checkbox"/> 取扱説明書(本書)	× 1
<input type="checkbox"/> 保証書	× 1

(保証書に必要な詳細がすべて記入されていることをお確かめください)

購入時の梱包箱および梱包品を保管しておくことをおすすめします。別の場所に移動するときに必要なことがあります。万一、不備な点がございましたら、おそれいりますが、お買い求めの販売店または弊社担当までお申し付けください。

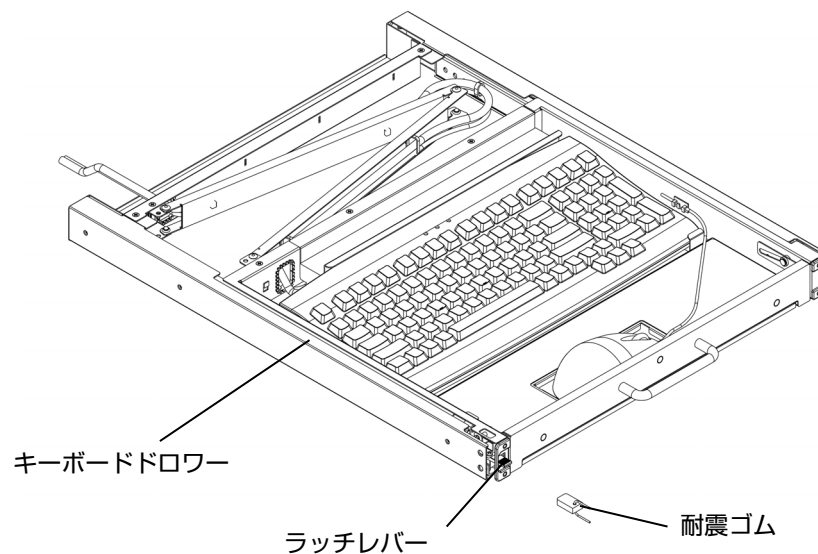
#### ⚠ 注意!

- 「重要なお知らせ」の安全情報に注意してください。

- ① 開梱時は本体に損傷がないか、配送品を確認してください。
- ② 装置前面左の耐震ゴムを引き抜いてください。

#### Point

- 耐震ゴムは、ラック取り付け時やラックの移動中に本装置がスライドしないように差し込んであります。本装置をラックに取り付けた後も必要になることがありますので、必ず保管しておいてください。



(耐震ゴム引き抜き図)

## 4. 重要なお知らせ

この章には、本装置で作業する際に注意しなければならない、安全性に関する情報を記載しています。よくお読みのうえ、正しくご使用ください。

### 4.1 安全性



**注意！**

**安全上の注意**

本装置は、事務オフィス環境で使用する電子事務用機器などの情報処理装置に関する安全規格に準拠しています。ご不明な点があれば、お買い求めの販売店または弊社担当に連絡してください。

本装置は、事務オフィス環境で使用する電子事務用機器などの情報処理装置に関する安全規格に準拠しています。ご不明な点があれば、お買い求めの販売店または弊社担当に連絡してください。

- 本装置を運搬する際は、衝撃や振動を避けるため、購入時の箱か同等の箱を使用してください。ただし、変形及び破損等がある箱は、使用しないでください、本装置が破損する可能性があります。
- 本装置の取り付け中と使用前に、「技術仕様」の環境条件についての記事と「ケーブルの接続」の記事をよくお読みのうえ、正しくご使用ください。
- 本装置を寒冷な環境から暖かい場所に移動すると、結露を生じることがあります。装置が完全に乾燥し、周囲温度とほぼ同じ温度になってからご使用してください。
- 地域の線路電圧が本装置の使用動作範囲内であることを確認してください。（「技術仕様」と本装置の型式銘板を参照してください）。
- 本装置の電源ケーブルは特別に認可されたものです。改造等は行わずにご使用ください。感電、短絡の原因になります。
- 本装置の電源ソケットまたはラックの電源コンセントの周辺は、プラグの抜き挿しがすぐに行えるようにしてください。
- ケーブルが損傷しないようにすべてのケーブルを配置してください。ケーブルを接続したり取り外したりするときは、「ケーブルの接続と取り外し」の該当部分を参照してください。
- 雷雨のときは、データケーブルを接続したり取り外したりしないでください。
- 本装置の内部に異物（ネックレスやクリップなど）や液体が入らないようにしてください。
- 緊急の場合（筐体、部品、またはケーブルの損傷、液体や異物の侵入など）は、ただちに装置からすべてのケーブルをはずして、お買い求めの販売店または担当保守員に連絡してください。
- 本装置を修理できるのは資格のある技術者だけです。資格のないユーザーが本装置を開き誤った修理をおこなうと、感電や火災などの原因になることがあります。
- ケーブルは強く引っ張らず、必ずコネクタ部を持って抜いてください。
- 体調の悪い状態でのキー打鍵や長時間の連続キー打鍵は避けてください。
- 濡れた手でのご使用は避けてください。
- 濡れた手でコネクタの抜き挿しをしないでください。
- 本装置の上には、液体等入ったコップなど不要な物をおかないでください。
- 改造または修理をしないでください。

- 本装置を引き出した状態で脚立代わりに使用したり、よりかかったりすると、ラックが転倒する可能性があるので危険ですのでおやめください。
- 本装置を引き出した状態では、本機の角などにぶつけると危険ですので十分注意して操作してください。本装置を使用しない場合や本装置以外のサーバや周辺機器など操作する場合には、本装置をラック内に格納することを推奨します。



**注意！**

ご使用上のご注意

ご使用の前に【ご使用上のご注意】をよくお読みの上、正しくご使用ください。

ここに記載の注意事項はユーザ様への危害、財産への損害を未然に防止するための内容を記載していますので、必ずお守りください。

- 各コネクタの抜き差しはサーバの電源が OFF になっていることを確認してから行ってください。また、静電気にも充分注意し放電してから行ってください。静電気が貯まったままや、電源が ON のまま抜き差しすると、サーバまたは本機の故障の原因となる場合があります。その場合の故障は保証対象外ですので、ご了承ください。
- 本機に接続できるサーバは、PC サーバ機です。但し、以下のキーボードコネクタおよびマウスコネクタを装備した機種です。それ以外の機種ではご使用になれません。
 

PS/2 モデル	：	キーボードコネクタ	：	ミニ DIN6P メス型コネクタ
		マウスコネクタ	：	ミニ DIN6P メス型コネクタ
USB モデル	：	キーボードコネクタ	：	USB A 型コネクタ
		マウスコネクタ	：	USB A 型コネクタ
- サーバ、KVM スイッチ等を表示、制御するためには別途モニターが必要となります。ラックをより効率的に使用するにはモニタードロワー（FD-M0XXAT シリーズまたは、FD-M60XAT シリーズ）を推奨いたします。詳細はお買い求めの販売店、または弊社担当にご確認ください。

## 4.2 廃棄について

本装置は、金属、プラスチック部品を使用しています。廃棄するときは、各自治体の指示にしたがってください。

## 4.3 本装置の運搬

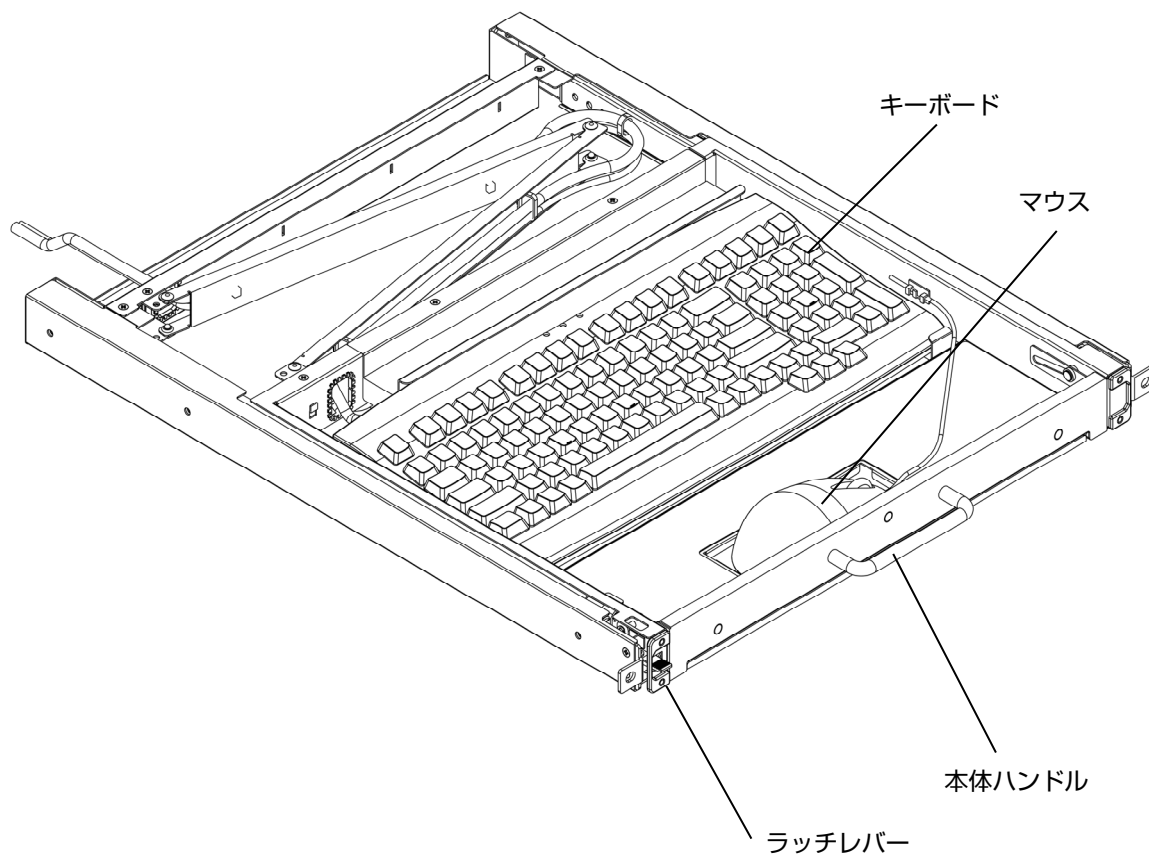


**注意！**

- 本装置を別の場所に運搬する際は、購入されたときに本装置が入っていた箱か、衝撃や振動から製品を保護できる箱を使用してください。
- 運搬処理がすべて完了するまで、開梱しないでください。

## 5. 各部の名称と機能

### 5.1 外観



① キーボード

サーバの操作や文字入力をおこなうときに使います。

② マウス

光学式の 3 ボタンマウスです。画面のカーソルを動かします。

③ 本体ハンドル

ラックから本体を引き出したり、格納するときに使います。  
フロントパネルを開閉するときにも使います。

④ ラッチレバー

本体を引き出すときに押し下げます。

## 6. 取り付け

### ⚠ 注意！

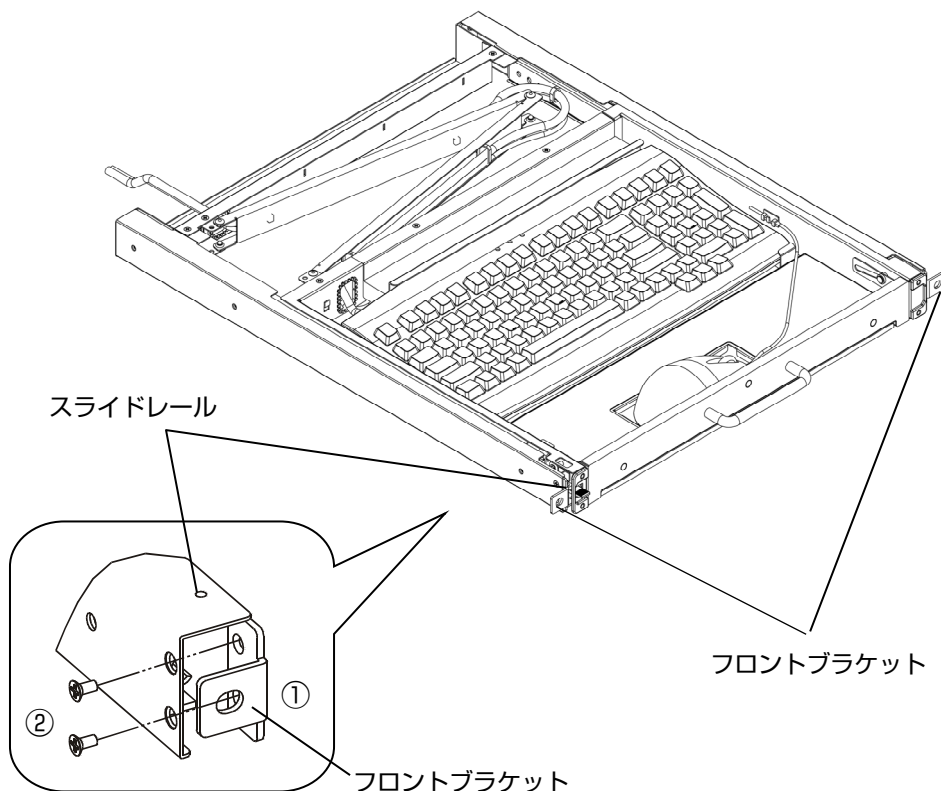
- 取り付けの前に「重要なお知らせ」の安全情報をよく読んでください。
- 設置環境を守ってご使用ください（「技術仕様」を参照してください）。ほこり、湿度、熱を避けてください。
- 本製品は重量が 6.5kg ありますので必要の場合は、取り付けを 2 人以上でおこなってください。
- 本装置とガイドレール間に、指や手を挟まないように注意してください。

### 6.1 フロントブラケットの取り付け

- (1) 本装置の前部左右の本体とスライドレール間にフロントブラケットを入れます。(図中①)
- (2) スライドレールの外側から、2 個のネジでフロントブラケットを固定します。(図中②)

### ⚠ 注意！

- 末尾 W の場合はフロントブラケットの形状が異なります。



(フロントブラケットの取り付け図)



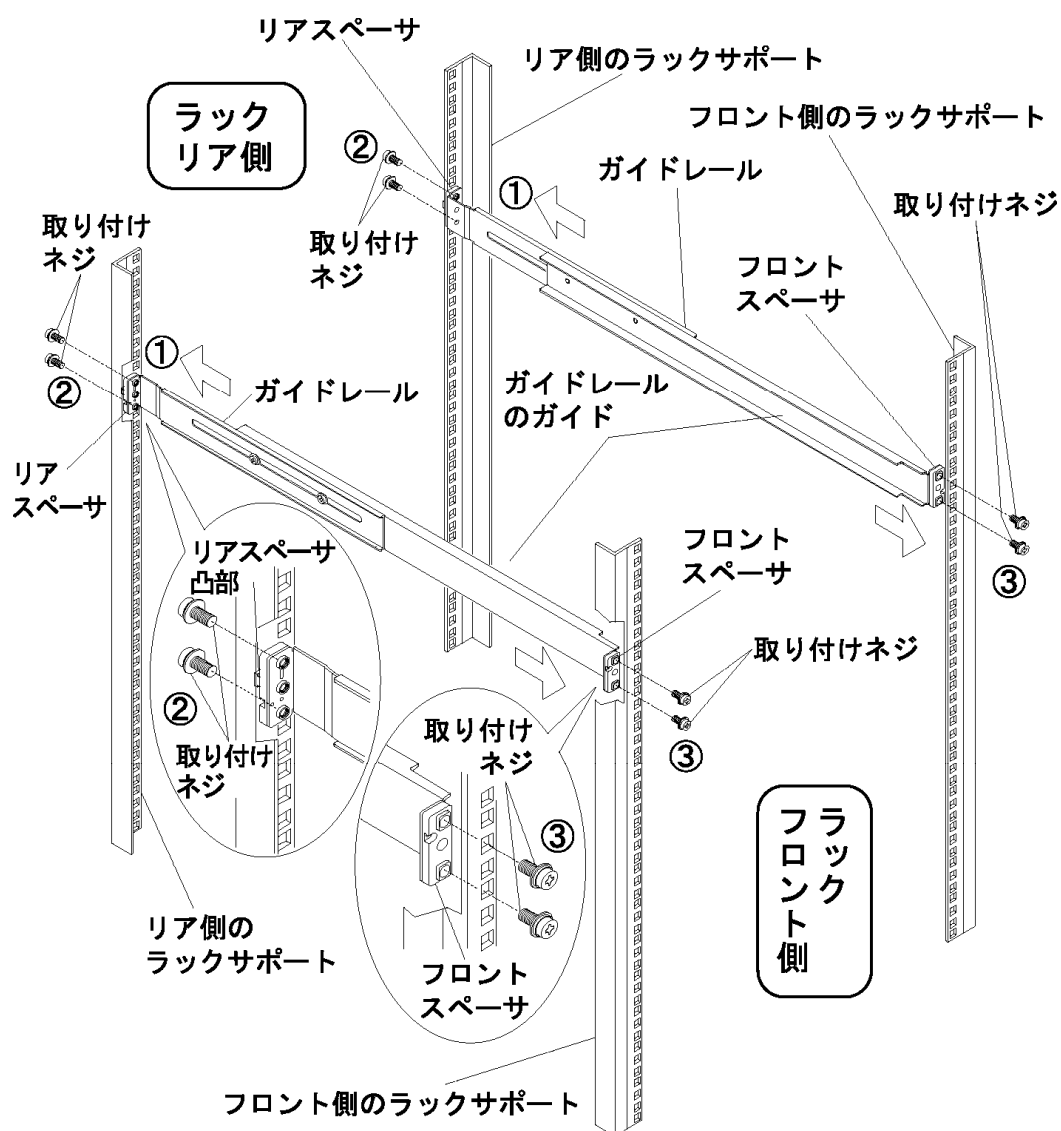
## 6.2 ガイドレールの取り付け(FP-G001 の場合)

### Point

- ガイドレールは、本製品が載せられるように、ガイドを前方、中側を向くように取り付けます。

- (1)ガイドレールのリアスペーサ凸部をリア側のラックサポートの穴に入れます。(図中①)
- (2)ラックサポート外側からリアスペーサ上下の穴を取り付けネジで固定します。(図中②)  
(左右ガイドレールの高さは同じにしてください)
- (3)フロント側のラックサポート内側にガイドレールを合わせて上下の穴を取り付けネジで固定します。(図中③)

他のガイドレール取り付けについては、ガイドレールに同梱されている取付説明書を参照ください。



(タップがあるガイドレールの取り付け図)

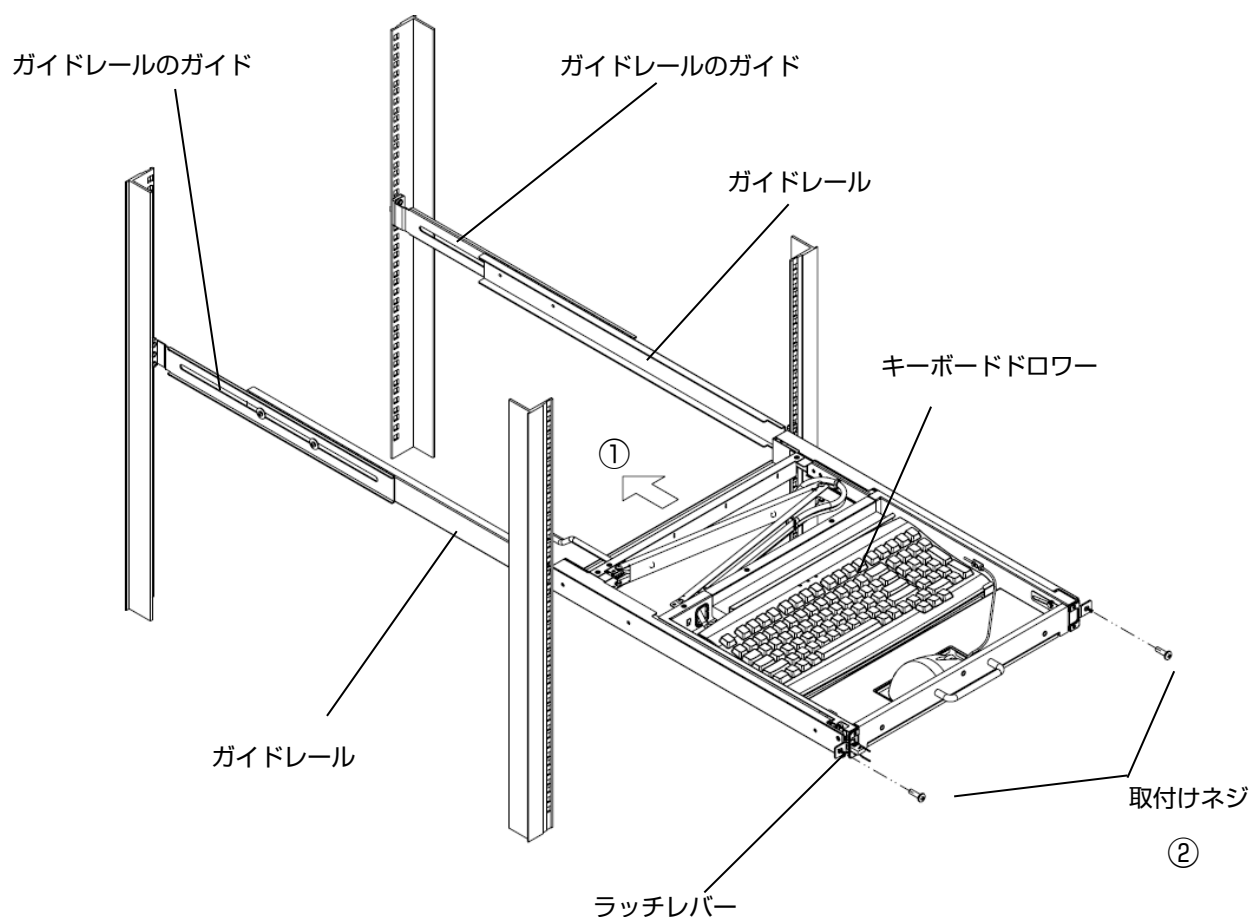
### 6.3 本製品の取り付け

#### ⚠ 注意!

- 作業中にラッチレバーが解除されないように注意してください。ラッチレバーが解除されているとキーボードドロワーがスライドするおそれがあります。
- ガイドレールに本製品を取り付ける時は、2人以上で持って入れてください。キーボードケーブル長は本体背面から 0.4m、またマウスケーブル長は本体背面から 0.4m です。サーバ、KVM スイッチなど接続する装置の位置をご確認のうえガイドレール及び、本製品をラックに実装ください。

(1) ガイドレール前方から本製品を入れます。(図中①)

(2) 本製品が止まるまで押し込み、前面 2 カ所を取り付けネジで固定します。(図中②)



(ラックへの取り付け図)

## 7. ケーブルの接続と取り外し

### ⚠ 注意！

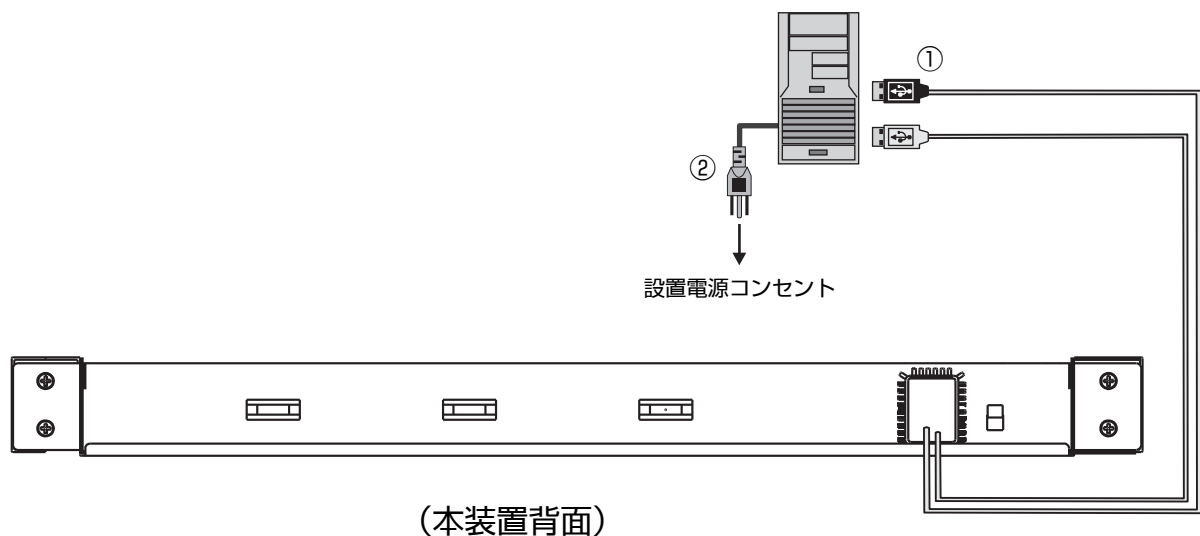
- ケーブルを接続する前に、本装置に関する説明書を読んでください。
- 雷雨の時は、ケーブルを接続したり取り外さないでください。
- 取り外すときは、ケーブルではなく、プラグ部を持ってください。
- ケーブルの接続と取り外しは次の順序にしたがってください。

### 7.1 ケーブルの接続

影響を受ける装置すべての電源プラグを電源コンセントから抜きます。

#### 7.1.1 サーバへ接続する場合

- (1) 本装置の背面より出ているキーボードケーブル(黒色 USB コネクタ)およびマウスケーブル(白色 USB コネクタ)をサーバに接続します。(図中①を接続)
- (2) サーバの電源ケーブルを電源コンセントに接続します。(図中②を接続)  
次にサーバの電源を入れます。



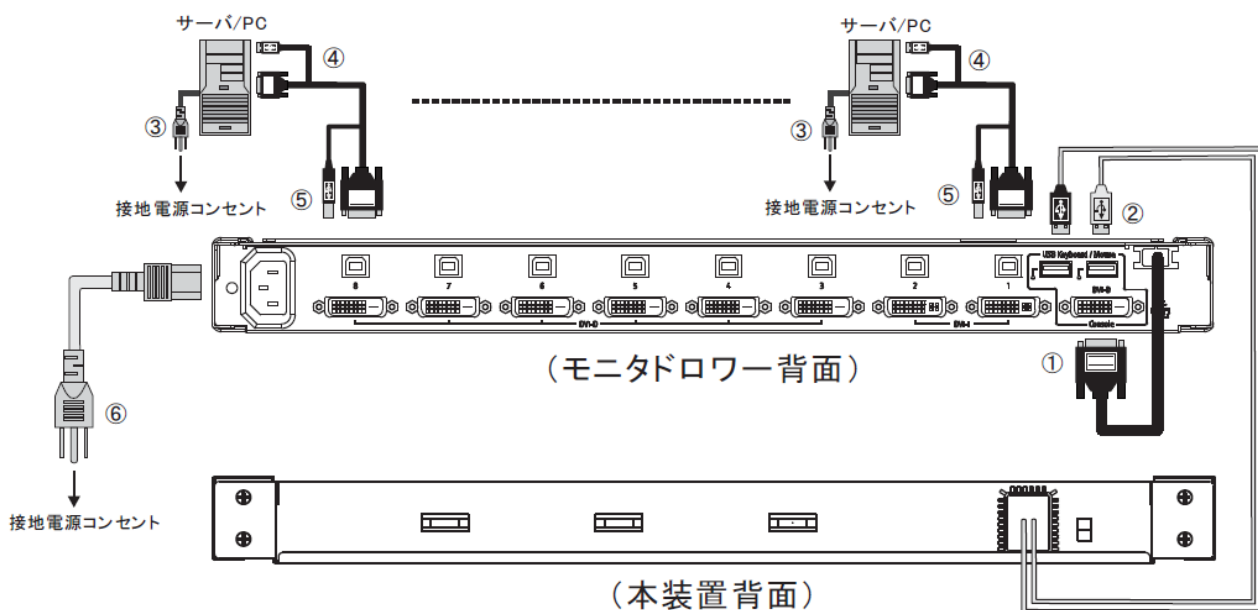
### Point

- キーボードケーブルやマウスケーブルを延長する場合は、オプション（別売）の延長ケーブル（3m）を使用してください。

## 7.1.2 KVM スイッチ内蔵モニタドロワーへ接続する場合

### —DVI8portKVM スイッチの場合—

- (1) コンソールポートにモニタドロワーの背面より出ている DVI ケーブルを接続します。  
(図中①を接続)
- (2) 本装置背面より出ているキーボードケーブル(黒色 USB コネクタ)およびマウスケーブル(白色 USB コネクタ)を KVM スイッチに接続します。(図中②を接続)2 つある USB コネクタのどちらに接続しても構いません。
- (3) サーバの電源ケーブルを電源コンセントに接続します。(図中③を接続)
- (4) 1 台目のサーバに別手配の専用ケーブルを接続します。(図中④を接続)
- (5) 専用ケーブルの反対側のコネクタを KVM スイッチのサーバ接続ポートに接続します。  
(図中⑤を接続)
- (6) 2~8 台も同じ手順で接続します。
- (7) 電源ケーブルを KVM スイッチに接続し、電源コンセントに接続します。(図中⑥を接続)
- (8) 使用するサーバの電源を入れます。



## 7.2 ケーブルの取り外し

影響を受ける装置すべての電源プラグを電源コンセントから抜いてから、各ケーブルを取り外してください。

## 8. 操作

### 注意！

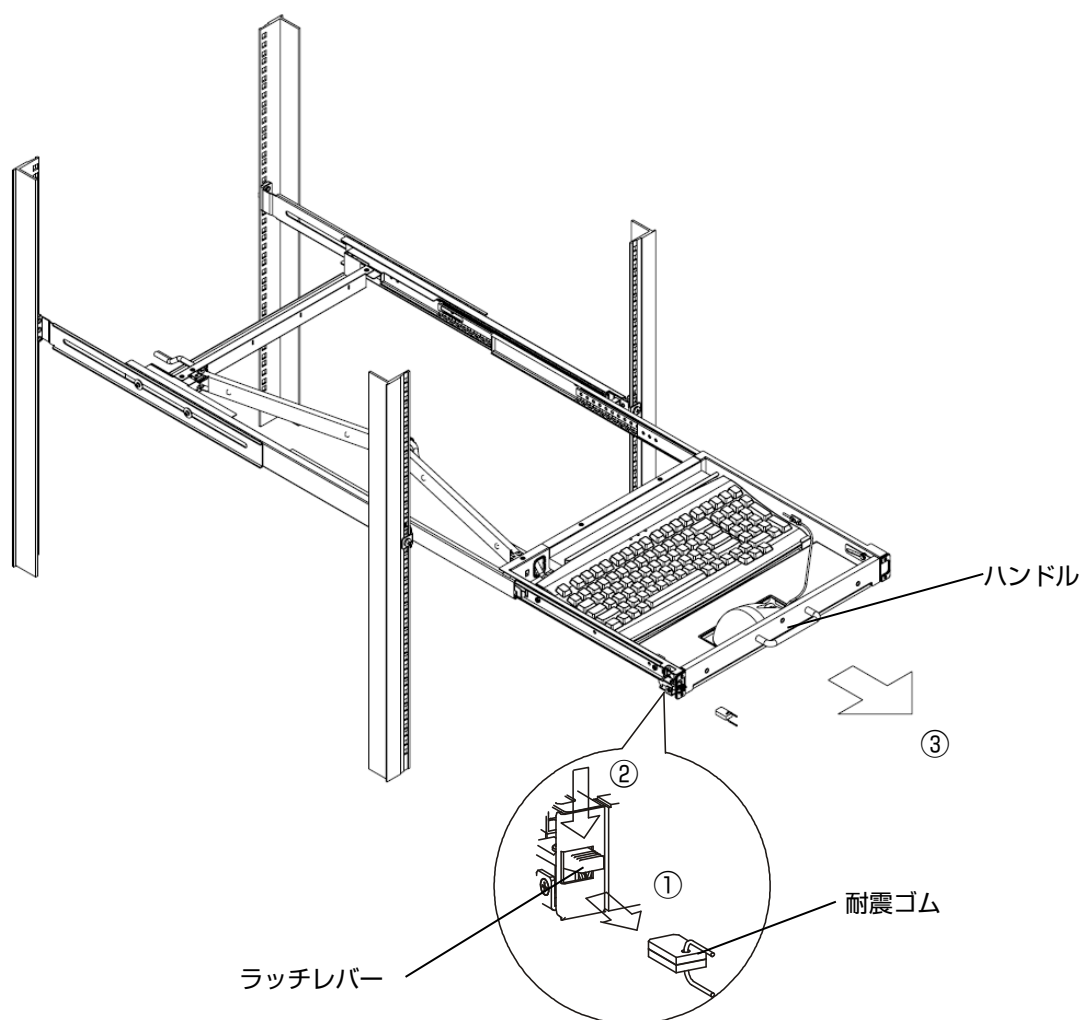
- 引き出した状態で完全なロックはかかりませんので、もたれ掛かると本製品は動いてしまいます。
- スライドモジュールの引き出しや押し込み時をおこなうときは、手を挟まないよう十分注意して実施してください。
- 本製品を引き出しているときに、強い力を加えると、ラック自体が転倒するおそれがありますので注意してください。
- 本製品を引き出した状態では、本機の角などにぶつけると危険ですので十分注意して操作してください。
- 本製品を使用しない場合や本製品以外のサーバや周辺など操作する場合には、本製品をラック内に格納することを推奨します。

## 8.1 本製品の引き出し

- (1) 耐震ゴムを引き抜いていない場合は、引き抜いてください。(図中①)
- (2) 前面左側のラッチレバーを押し下げます。(図中②)
- (3) ハンドルを持ってキーボードドロワーを引き出します。ゆっくりと一番手前まで引き出してください。(図中③)

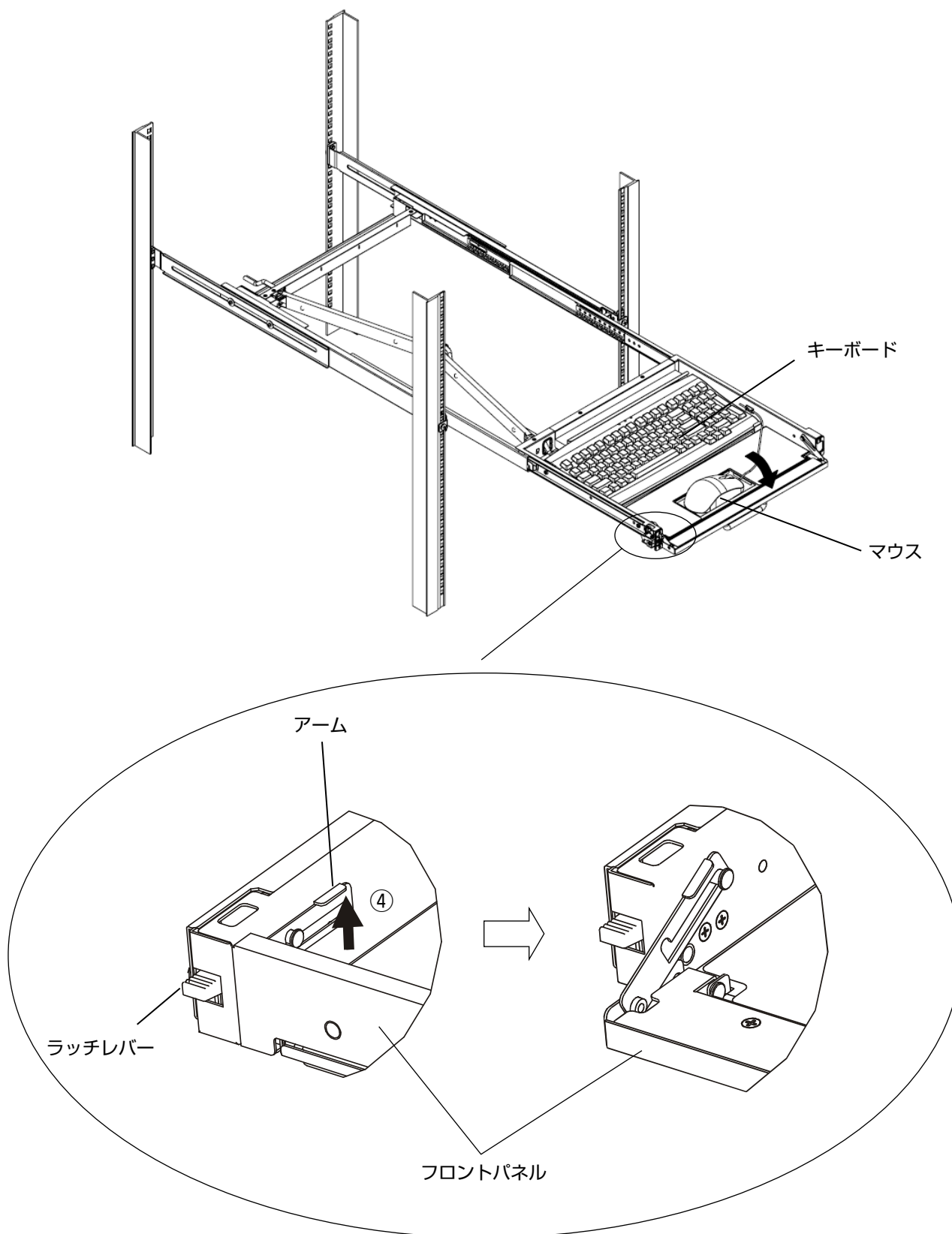
### Point

- 本製品が、前面部 2 本の取り付けネジでラックに固定されていることを確認してから引き出してください。



(キーボードドロワーの引き出し図)

(4) フロントパネル左端のアームを軽く持ち上げて、フロントパネルを開きます。(図中④)



## 8.2 キーボードの操作、LED 表示

### ⚠ 注意！

- キーボードは、長時間使用すると手や指の健康に影響をおよぼすことがあります。ときどき休憩をとってご使用ください。

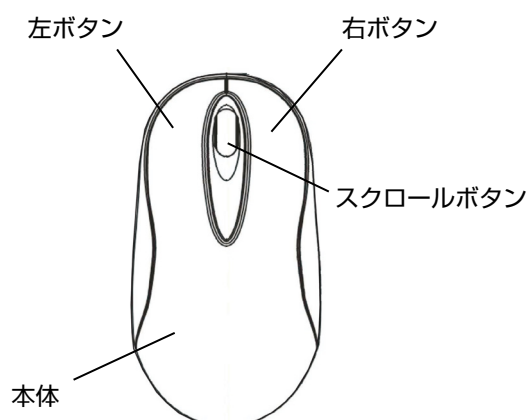
キーボードの LED は、Num Lock キーや Caps Lock キーなどの切り替えキーの状態を示します。

LED の状態		キーの状態
Num Lock	点灯	Num Lock オン
	消灯	Num Lock オフ
Caps Lock	点灯	Caps Lock オン
	消灯	Caps Lock オフ
Scroll Lock	点灯	Scroll Lock オン
	消灯	Scroll Lock オフ

## 8.3 マウスの使用方法

### ⚠ 注意！

- マウスは、長時間使用すると手や指の健康に影響をおよぼすことがあります。ときどき休憩をとってご使用ください。



- ① 左ボタン  
通常、指定や選択する場合に使用します。
- ② 右ボタン  
ショートカットなどを表示するボタンです。
- ③ スクロールボタン  
画面をスクロールさせるとき、このボタンを前後に回転させます。
- ④ 本体  
動かすと、モニタ画面のポインタ（矢印）が移動します。



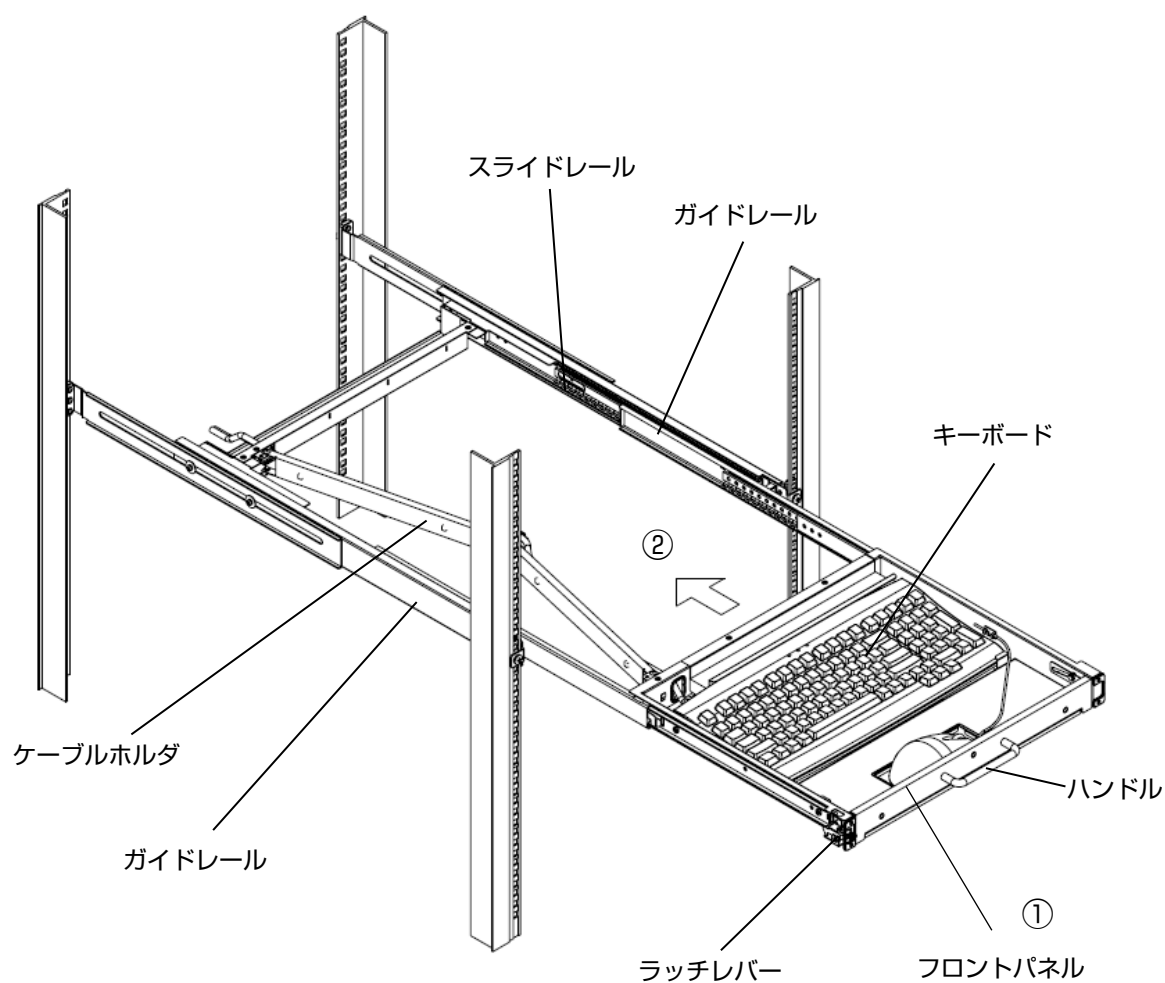
## 8.4 本製品の格納

キーボードやマウスを使用しない場合は、本製品をラックに格納することができます。

- (1) フロントパネルを閉じます。(図中①)
- (2) ハンドルを持って奥まで本体をラックに押し込みます。ラッチレバーが掛かったことを確かめます。(図中②)

### ⚠ 注意!

- 本製品を格納する場合、ガイドレールやスライドレール、本製品本体に指や手を挟まないように注意してください。
- ラッチレバーが掛かっていないと、ラックを動かしたときに、本製品が出てくる可能性があります。
- フロントパネルを中途半端に閉じた状態で収納すると、アーム部分が真上に設置されている装置を傷つける恐れがありますので、完全に閉じた状態で収納ください。



## 9. 本装置のお手入れ

### 注意！

- 研磨剤を含む清掃剤や、ベンジン、シンナーなどの有機溶剤、消毒用アルコールは使用しないでください。
- 水や洗剤、スプレー式のクリーナーを直接かけないでください。液が内部に入ると、誤動作や故障の原因になります。

キーボードドロー本体を乾いた布で拭いてください。汚れがひどいときには、水にうすめた家庭用洗剤を浸したやわらかい布をよく絞って拭きとってください。

ほこりはやわらかいブラシなどで払ってください。

## 10.技術仕様

項目		仕様			
名称		キーボードドロー			
形格		FD-K000AT/J	FD-K000AT/JW	FD-K000AU/J	FD-K000AU/JW
筐体色		黒	白	黒	白
必要ラックユニット数		1U			
キーボード	インターフェース	PS/2		USB	
	ケーブル長	0.4m (ドロー筐体後面からの長さ)		0.4m (ドロー筐体後面からの長さ)	
	消費電流	DC5V 100mA (Max)			
マウス	インターフェース	PS/2		USB	
	方式	光学式			
	ボタン数	3 (左右ボタン+ホイールボタン)			
	ケーブル長	0.4m (ドロー筐体後面からの長さ)		0.4m (ドロー筐体後面からの長さ)	
	消費電流	DC5V 100mA (Max)			
動作温度 (使用時)		5 ~ 35 °C (使用時の結露は避けてください。)			
保存温度(非動作時)		0°C ~ 50 °C			
外形寸法	(1)スライドレール縮小時	445.4mm(W)×505mm(D)×40.5mm(H)			
	(2)スライドレール伸張時	445.4mm(W)×985mm(D)×40.5mm(H)			
構造		金属ケース、塗装			
質量		6.5kg			

### ●ガイドレール (別売)

型名	ラック取り付け穴	備考
FP-G001	M6 タップ有り	M6 ネジ添付 前後からの取り付け
FP-G002	長穴タップなし	M5、M6 ネジ添付 前後からの取り付け
FP-G002/W	長穴タップなし	FP-G002+スペーサ+皿ネジ(M5)×4個 +M5 ネジ 6本添付
FP-G003	長穴タップなし	M5、M6 ネジ付 サイドからの取り付け

### ●ケーブル (別売)

名称	型名	備考
PS/2 延長ケーブル	NC14000-B860/30	3m
USB/延長ケーブル	NC14000-B861/30	3m

Memo

Memo

Memo

---

キーボードドロワー  
[FD-K000AT/J、FD-K000AT/JW、FD-K000AU/J、FD-K000AU/JW]

オペレーティングマニュアル

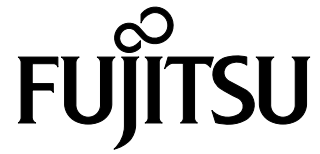
発行日 2015年 8月 第3版発行

発行責任者 富士通コンポーネント株式会社

Printed in Japan

---

- 本書の内容は、改善のため事前連絡なしに変更することがあります。
- 本書に記載されたデータの使用に起因する第三者の特許権およびその他の権利の侵害については、当社はその責を負いません。
- 無断転載を禁じます。



この説明書は再生紙を使用しています。



150801(NC14010-L527-03)